

別府大学の学部における人材養成に関する目的その他の教育研究上の目的

別府大学学則第3条第3項の規定に基づき、学部及び学科の人材養成に関する目的その他の教育研究上の目的を次のとおり定める。

I. 文学部

建学の精神、「真理はわれらを自由にする」を基礎に、文学・言語、史学、芸術、福祉・心理などの研究を通して培われる深い教養教育によって、自由な精神をもつ人間、有能な社会人及び優秀な研究者を育成することを目的とし、次の目標をかかげ教育研究活動を推進する。

- 一 創造性豊かな優れた研究者などの育成
- 二 専門的な知識と能力を備えた職業人として社会の発展を担う人材の育成
- 三 国際的な視野に立って教育研究を進めるとともに、国際社会で活躍できる能力を備えた人材の育成
- 四 地域にある大学として特色ある教育研究活動の推進
- 五 社会の多様なニーズに応える生涯学習の場として教育研究活動の推進

1. 国際言語・文化学科

言語、文化、文学、芸術実技・理論について豊富な科目群を幅広く学び、複合領域の学問を修得できるように「日本語・日本文学」、「英語・英米文学」、「芸術」、「国際文化」の4つのコースを設けている。

これによって各々の専門分野を総合的な視点から諸問題に対応できる広い視野をもった人材、国際性と広い見識を踏まえた上記のコースに関わる専門領域に明るい人材を養成することを目的とする。

2. 史学・文化財学科

日本史や世界史の知識ばかりでなく、考古・民俗・環境・保存科学といった学問の成果を総合的に取り入れるために、「世界史コース」、「日本史・アーカイブズコース」、「考古学・文化財科学コース」、「環境歴史学・文化遺産学コース」という4つのコースを設け、複眼的な視点を持って学習できるようにする。このような学習によって、教員や学芸員のような、将来、地域教育・学術文化を活性化させる人材の育成を目的とする。

3. 人間関係学科

今日、家庭、学校、職場など、地域社会のいたるところで「人間関係」をめぐる諸問題が増加している。人間関係学科では、社会福祉、心理、教育・生涯スポーツ、地域マネジメントの学際的観点に立ち、これらの諸問題を理論的かつ実践的に解決でき、地域社会の再生を担うことのできる人材の養成を目的としている。そのために、社会福祉士、精神保健福祉士、教員、認定心理士・社会調査士などの資格取得やコンピュータ・スキルの習得、論理的思考とその表現力を身につけることに力を入れる。

II. 食物栄養科学部

建学の精神・「真理はわれらを自由にする」を基礎に、社会的ニーズに対応した食と健康に関する専門教育を行うとともに、有能な社会人及び優秀な研究者を育成することを目的とし、次の目標をかかげ教育研究活動を推進する。

- 一 創造性豊かな優れた研究者などの育成

- 二 専門知識と能力を備えた職業人として社会の発展を担う人材の育成
- 三 地域社会ならびに国際社会の発展のために食を通して21世紀の健康的な社会の構築に貢献できる有為な人材の育成
- 四 地域にある大学として特色ある教育研究活動の推進

1. 食物栄養学科

食と栄養を通して人びとの健康を守り、病気の予防や回復に貢献できる専門家の養成を目的として、実際に即した専門教育を施し、視野の広い社会観、人間観を涵養することで、21世紀の健康的な社会の構築に寄与できる人材の育成をめざす。

- (1) 健康・栄養に関する高度な専門的知識を持ち、傷病者に対する療養のための適正な栄養管理のできる能力を備えた人材を育成する。
- (2) 健康・栄養に関する高度な専門的知識を持ち、生活習慣病などの予防を重視した健康の保持・増進のための適切な健康・栄養教育のできる能力を備えた人材を育成する。
- (3) 給食施設における給食経営管理の総合的マネジメントおよび栄養改善上必要な指導のできる能力を備えた人材を育成する。
- (4) 複雑化する食環境や食習慣などによりもたらされる社会的ニーズに対応し、健康・栄養に関する高度な専門的知識を持ち、地域の文化・生活の向上に貢献できる人材を育成する。

2. 発酵食品学科

人間教育を中心とし、人格の陶冶に努め、実際に即した食とバイオサイエンスに関する専門教育を行い、地域社会ならびに国際社会の発展に貢献できる有為な人材を育成する。

- (1) 人々の健康に寄与することができる資源の探索や有効利用に貢献できる高度の専門知識や技術を備えた人材の育成を目指す。
- (2) 本学科の柱は、「生命現象を理解する」、「微生物や酵素を利用する」、「食品の栄養価・安全性・官能性を評価する」、「食糧の流通に貢献する」であり、食糧問題に積極的に貢献できる人材を育成する。
- (3) 地域的特性に基づき、地域社会と密接に連携・協力できる教育・研究を推進める。
- (4) 21世紀の食生活や健康問題に関して国際的視野に立ち新しいあり方を探索できる教育・研究を推進する。
- (5) 食品バイオサイエンスなどの新しい分野に関する高度な知識や技術を習得したいと願う社会人に門戸を開く教育・研究を推進する。

Ⅲ. 国際経営学部国際経営学科

建学の精神、「真理はわれらを自由にする」を基礎に、国際化・多様化・グローバル化した現代社会において、特に地域的、経済的、社会文化的にクロッシング・ボーダー化した領域において活躍できる国際的な経営感覚を身につけた人材を養成することを目的とし、次の目標をかかげ教育研究活動を推進する。

- 一 国際経営学の領域において創造性豊かな優れた研究者などの育成
- 二 グローバルな視野とIT技術を身につけ、国際社会の経済・文化等の諸領域で活躍できる経営管理者の育成
- 三 会計・経営領域における専門職業人の育成
- 四 国際的な経営管理知識と技法を身につけ、地域経済の振興に貢献できる人材の育成